

復活！清水七夕まつり

2年連続で開催を見合させてきた清水七夕まつりの実施が決まりました。

清水市民活動センターは、「七夕まつりを盛り上げて、まちの活性化につなげたい」という利用者の声をきっかけに、中止の間も含め交流を目的としたカフェや飾りづくりに毎年取り組んできました。

68回目の開催となる今年は、市民飾りへの参加とともに、これまでの歴史を振り返るフォトギャラリーを館内展示企画としておこないます。（展示期間7月1日から31日）



清水銀座商店街振興組合に提供していただいた初期のころからの写真がズラリ！
清水の芸妓さんの姿も今では貴重な記録です。



市民飾りに参加を始めた平成29年。商店街のみなさんからは紙花や「くす玉」つくりを丁寧に教えていただきました。「清水の七夕は市民が作るまつり」という当時の実行委員長さんの言葉が忘れられません。

リレートーク 港の風 61

静岡市清水区折戸に明治42年に建てられた古民家があります。113年の時を刻んだこの建物は、現在『SOYハウス』と名前を変え、令和3年11月に認証を受けたNPO法人ヒト・マチ・プロジェクトの拠点になっています。

活動をはじめた経緯やこの建物との出会いについて、理事長の山下ともちさんにうかがいました。



NPO法人 ヒト・マチ・プロジェクト 理事長 山下ともち

旧柴田醤油醸造所との出会い

私は清水市(現清水区)の出身で、この辺りを何度も訪れたことがありました。古民家があることなんて全く知りませんでした。『旧柴田醤油醸造所』との最初の出会いは、そこで開催されていた落語会にさそわれたのが始まりでした。

建物に足を踏み入れると、見たこともない太い梁、立派な大黒柱があり、家紋は揺るがぬ存在感を發揮し、まるで家を守っているようでした。その時はたくさん的人が来て活気に溢れていましたが、長い間人は住んでおらず、イベントが終わればまた空き家に戻ってしまいます。

ここを子どもたちや地域の人の笑顔で溢れる場所にしたいと思い、建物の管理会社に企画書を持っていきました。管理者としても活用していきたいという想いがあったようで、持ち主につないでいただき順調に話が進みました。(それ以来イベント時の駐車場の確保等、様々な面で手伝ってもらっています。)

再び時を刻み始めた古民家

落語会のようなイベントは、保存のため年1回のペースで開催されていましたが、10年間空き家になっていたので、庭の雑草は生え放題、開かずの部屋がある等メンテナンスが必要な個所が多くありました。

また、敷地内にゴミが捨てられていて、それが原因で火事にならないかという地域の不安な声もあったようです。草むしりや障子の張替えなど自分達でもできることはやってきました。



▲自分たちで障子の張替え

一緒に活動しているメンバーは、幼馴染や子どもの通う保育園のお母さんたち等の知り合いに声をかけてつきました。

「楽しそう」という興味から手伝いはじめたメンバーもいましたが、現在は各自ができる仕事を担当し、みんなで活動をしています。



▲雑草やゴミが多かった敷地は、現在駐車場として利用

未来のためにできること

NPO法人ヒト・マチ・プロジェクトは、『SOYハウス』を活動拠点に、人と地域がつながることを目的に様々な活動をしています。

木・金曜日の2日間限定で、発酵×大豆×薬膳の『カラダが調う発酵プレートランチ』等が食べられる『SOYカフェ』、地域の人達との交流を目的とした『古民家フェスティバル』、折戸地区の農家さんの畑を借りて、子ども達に野菜の植え付けや収穫を通して「食」の大切さを伝える『SOYアグリ』等も実施しています。

私が小学校2年生の子どもの親ということもあります、どうしても子ども達の将来について考えてしまいます。今後は、SDGsを意識した活動にも挑戦してみたいですね。今考えているのはコンポスト作りという小さなですが、できることから子ども達の未来の笑顔のために頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。

地域のリビング～ママが笑顔に子どもが笑顔に～ NPO法人ヒト・マチ・プロジェクト



子どもに寄り添うママのココロは、優しくなる。
優しいママの側にいる子どものココロは、安心する。
今しか紡げないかけがえのない時間。
そんな時間を大切にしたい。
いつでも誰でも元気があってもなくても、
少し疲れていたらなおさら、
SOYハウスの暖簾をくぐってください。
「おかえりなさい」

▲かつて醤油醸造所だったことからソイソース→SOYハウスと命名
大豆の様々な物に姿を変える特徴から、どこまでも可能性が広がるようにと
想いが込められている



▲活動の中心は、子育て中、又は経験のあるみなさん
取材当日(5/6)メンバー

10th SOYカフェ



古民家広間

▲古民家のあたたかい雰囲気が漂う空間



からだが調う手作りメニュー

▲酵素玄米を中心に行(こしら)えた発酵プレート
植物性の原料のみを使用した豆腐ショコラ
デザート等のメニューが揃う



オリジナル帽子

▲スタッフ一人一人の個性に合わせたデザイン

古民家フェスティバル



5/22(日)にNPO法人設立記念として開催された古民家フェスティバル。

唐揚げ、パン、豆腐、コーヒー等の飲食のお店の他、着物をリメイクした日傘販売や、未就学児の子どもから大人までが参加できるワークショップ等、幅広い世代が楽しめる催しでした。

友だち、応援してくれる企業、地域の人とのつながりの中ではじまったSOYハウス。この日も駐車場の整理や読み聞かせ、にたくさんの協力者が集まり、地域の方も楽しそうに参加していて、地域と人をつなぐ新たな場所になりつつあることが感じられました。

法人としてはじまつばかりの団体ですが、世代を超えて地域に根差した活動の広がりが楽しみです。

NPO法人ヒト・マチ・プロジェクト
静岡市清水区折戸1-2-25
問合せ：080-9732-0499

NPOワンポイント

所轄庁への事業報告書等の提出は期日までに！

3月末に事業年度末を迎えたNPO法人のみなさん、所轄庁に提出する事業報告書等の準備はできましたか？提出は、書類を整えて監査を受け、総会の議決を経たのちとなります。そして、提出期限は「7月7日」です。

■所轄庁への提出書類

- ①事業報告書等
- ②役員に変更(再任も含む)があった場合の必要書類
- ③定款を変更した場合の届出書類

清水市民活動センターでは
6月30日まで
「事業報告書作成講座」の動画を配信し
ています。
視聴ご希望の方は、右のQRコードから
お申し込みください。



▲センターHP

法人の名称を変更した場合、代表権を持つ理事が任期満了となり変更、または再任となった場合、所轄庁の変更を伴う所在地の変更があった場合等については、法務局への登記が必要になります。

また、平成28年の法改正により貸借対照表の公告が義務化されました。各法人の定款に従って対応してください。

センター主催講座のお知らせ

団体の広報力アップ講座！

プロから学ぶ チラシデザイン術

第1部 知っておきたい広報の『基礎』
広報・デザインに共通する基本を学びます。
第2部 実践!!チラシ作成ワークショップ
グループに分かれてチラシを作成!!
講師からアドバイスがもらえます。

日 時 7月2日(土) 13:00~17:00
講 師 谷 浩明さん
静岡県知事戦略局広報アドバイザー
杉並区広報専門監他
定 員 20名
参加費 500円(資料代)

団体の会計力アップ講座！

電子帳簿保存法を学ぼう

令和4年1月改正電子帳簿保存法が施行されました。
主な内容

- ・電子帳簿保存法の改正点
- ・何の書類をどのように保存するのか
- ・その対応について事例を交えて解説

日 時 7月30日(土) 13:30~15:30
会場参加、Zoomによるオンライン参加が選べます。
講 師 中尾さゆりさん
税理士
NPO法人 ボランタリーネイバーズ理事長
定 員 会場参加 15名 オンライン参加 15名
参加費 300円(会場参加者の資料印刷代)

しみず・コレなあに？ その50



あわや水没しようとする古代都市！…に見えなくもない。
画像提供者の市民活動センタースタッフ曰く、「パルテノン神殿」。

いささか厳しい気もしますが、こんな光景を見る機会はなかなかありません。

ここは清水のまちを緩やかに流れる巴川に架かる千歳橋の下。SUP(スタンドアップ・パドルボード)で往来を楽しみながらのショットです。

近世、川沿いには廻船問屋が建ち並び、駿府城下唯一の湊として賑わっていたそうですが、現在は釣り船が係留されているのみです。

静かな流れを利用して初心者でも参加しやすいSUPで川を楽しもうというアイデアは、まちの賑わいづくりにも一役買えるかもしれません。そういえば、「ドラゴンボートを漕ぎながら地域の歴史を知ろう」というNPOが企画したイベントもありました。

遊び心を持ちながら地域の資源を活用としようという試み、期待したいですね。